



湖北

「山本山のおばあちゃん」
で知られるオオワシのファン
ミーティングが3月17日、長
浜市湖北町今西の湖北野鳥セ
ンターで開かれた。オオワシ
愛にあふれるアマチュア写真
家6人が撮影の裏話や魅力な
どを発表した。

6人の中で最年長の白岩昭
文さん(81)は、毎日のよう
に高島市から山本山に通って
撮影したという。発表では、
オオワシが鵜から大きな魚を
奪う様子や、足で次々に枝を



撮影したオオワシの写真を
紹介する白岩昭文さん(左)

【長浜通信部・長谷川隆広

長浜

あふれるオオワシ愛
アマ写真家が撮影裏話

押さえながら木の隙間から器
用に飛び出す様子などを組写
真で紹介。白岩さんは「撮影
では狙いの裏をかかれること
もある。だからこそ20年追
かけてもまだ飽きない。来シ
ーズンも追いかけます」と話
した。

また、古い引き出しの中に
鳥の絵を描くイラストレータ
ー・ユカワアツコさんが飛び
入り参加し、同センターにオ
オワシのイラストを描いた引
き出しを贈った。

湖東



彦根市と地元環境保護団体
が「佐和山の自然ウオッチン
グガイド」を作成した。A3
判フルカラー両面刷り。市生
活環境課窓口で配布している。
表面では佐和山について「彦
根城から東に約2キロ離れた標
高232・9メートルの山」「15
90年、石田三成が城主とな
り山頂に5層の天守を築いた」
と説明。また上昇気流ができ
やすく「多いときには1000
羽を超えるタカが一斉に旋回
上昇するタカ柱が見られる」

とコメントしている。裏面に
は登山ルートを示す「ウオツ
チングマップ」を掲載。夏鳥
のサシバ、チョウのアサギマ
ダラ、ヤマザクラ、ヤブツバ
キといった動植物の写真も載
せている。
これまでも「荒神山とそ
の周辺」「彦根城とその周辺」
の周辺「芹川」についても同様のガ
イドを作ってきた。すべて同
市ホームページからダウンロ
ードできる。
【彦根通信部・伊藤信司】

彦根

佐和山の自然ガイド
市生活環境課で配布

新名称は「ココット彦根」

気軽に心地よく



さまざまなテナントが並び
「cocottoHIKONE」=近江鉄道HPより

彦根市松原町の商業施設
「フレスポ彦根」が3月6日
「cocottoHIKONE(ココッ
ト彦根)」に名称変更した。
運営する近江鉄道によると、
「coco」には come(気軽に
訪れることのできる施設)、
comfortable(日常に溶け込
む心地よい空間)、commu
nity(地域とのつながりとな
る場所)の意味を込めた。さ
らに「cotto」は湖都に通じ
琵琶湖のほとりにある都市を
イメージしたという。既にJ
R守山駅前の近江鉄道ビルで
も商業施設「cocottoMORI
YAMA」を展開している。
cocottoHIKONE は国宝
彦根城東方にあり敷地3万
6561平方メートル。しゃぶ葉
丸亀製麺▽SPORTSDEPO/
COLF5▽ドン・キホーテ▽
Right-on▽わかもり皮ふ科
クリニック▽松原調剤薬局が
営業中。さらにスポーツジム
や飲食店が進出予定という。
【彦根通信部・伊藤信司】

「つどい」にふるさとづくり大賞

理事長の川村美津子さん

長浜市常喜町で高齢者や障
害者福祉に取り組む認定N P
O法人「つどい」の川村美津
子理事長が総務省の「令和5
年度ふるさとづくり大賞(個
人表彰)」を受賞し、3月14日
に浅見宣義・長浜市長に報告
した。同賞は、全国各地でふ
るさとをより良くしようと頑
張る団体、個人を表彰するた
め、総務省が1983年度に
始めた。
川村さんは2011年に同
法人を設立し、高齢者や障害
者、働きづらさを抱える若者
らの生きがいや働く場所を作
る「100JOBプロジェクト」
を展開してきた。彼らに
安定的な報酬を提供するため、



ふるさとづくり大賞を受賞する川村美津子(左)と報告する

空き家や耕作放棄地などを活
用した農福連携でさまざまな
事業を手掛けている。
川村さんは「市が伴走して
くれたおかげで受賞できた。
みんなの励みになる。これか
らも農業を軸としたビジネス
を継続していきたい」とした。
【長浜通信部・長谷川隆広】